

平成 24 年度

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業
(九州中央山地地域)

報 告 書

平成 25 年 3 月

九 州 森 林 管 理 局

目 次

第1章 事業概要

1-1 事業目的	1
1-2 事業実施地域	1
1-3 事業実施期間	2
1-4 事業方針	2
1-5 事業実施フロー	3

第2章 事業内容

2-1 モニタリング調査	5
2-1-1 生息密度調査	5
2-1-2 モニタリング手法の検討	162
2-2 シカの移動状況等調査	186
2-2-1 GPS テレメトリー法等による調査分析	186
2-2-2 ビデオカメラ等による調査分析	223
2-2-3 行動パターン等の取りまとめ	247
2-3 地元市町村、獵友会等との協力体制の構築	254
2-3-1 地域との連携及び情報収集	254
2-3-2 九州の民有林の捕獲体制の事例調査	291
2-3-3 県域を越えた捕獲体制の検討	329
2-3-4 シカの有効利用に関する情報収集	342
2-4 シカの捕獲方法等の検討及び検証	360
2-4-1 低コスト化を考慮した捕獲方法別の実証試験	360
2-4-2 捕獲方法の組み合わせの検証	385
2-4-3 誘引捕殺に関する調査	425
2-5 シカの捕獲マニュアルの作成	443
2-5-1 捕獲マニュアルの構成	443
2-5-2 捕獲マニュアルの概要	443
2-5-3 捕獲マニュアルの活用と捕獲手法の普及啓発活動	444
2-6 植生の保護・再生手法の検討	445
2-6-1 植生のモニタリング調査	445
2-7 重点取組地区の計画策定(祖母傾地域、向坂山地域、霧島山地域、鹿児島地域)	540
2-7-1 計画策定の目的	540
2-7-2 調査地区の設定及び解析方法	540
2-7-3 重点取組の実施計画	540
2-7-4 各重点取組地区における計画	543

2-8 捕獲体制の検討（青井岳地域）	552
2-8-1 検討および検証目的	552
2-8-2 移動規制柵の効果検証のためのモニタリング調査	552
2-8-3 シカの拡大防止のためのシカ捕獲方法の検討	552
2-8-4 捕獲体制のとりまとめ	559
2-9 シカの生息域拡大防止手法の検討等（鹿児島地域）	562
2-9-1 検討内容	562
2-9-2 検討のための方法	562
2-9-3 鹿児島地域のシカの生息状況	562
2-9-4 検討結果	562
2-9-5 シカ生息拡大先端地域における拡大防止手法案	563
2-10 検討委員会の開催	568
2-10-1 実施時期及び回数	568
2-10-2 第1回検討委員会概要	568
2-10-3 第2回検討委員会概要	569
2-11 シンポジウムの開催	571
2-12 事業実施計画等の作成	575
2-13 次年度以降の調査にあたっての課題	578
2-13-1 モニタリング調査	578
2-13-2 シカの移動状況調査	578
2-13-3 シカの捕獲方法の検討及び検証	579
引用文献・参考文献	580

第1章 事業概要

1-1 事業目的

本事業の目的は以下のとおりである。

祖母山・傾山・大崩山系、九州中央山地、霧島山系の森林地域（以下「九州中央山地等地域」という。）においては、人工林でのシカによる剥皮被害等に加え、天然林においてはシカにより下層植生が食害を受けているなどの状況にある。

天然林は、本来、動植物相の多様性に富んでいるが、シカが高密度で生息していることにより、林内の低木・草本類等の下層植生に食害を受けるとともに、中・上層木においても剥皮害やこれによる立ち枯れ等が発生し、希少種の絶滅や種の多様性の観点からも問題となっている。

このことから、九州中央山地等地域の森林（人工林、天然林）において、シカによる被害状況やシカの生息・移動状況等を把握した上で、森林の多様性の保全や国土保全等の観点から、重点取組地区を設定し、民有林とも連携しながら森林生態系の保全のための植生の保護・再生方策、シカの個体数調整方策、捕獲後の利活用調査等を含むシカに関する総合的な対策を検討する。

1-2 事業実施地域

本事業における事業対象地域は図 1-2-1 のとおりである。また、植生の保護・再生手法の検討対象箇所等位置図は、図 1-2-2 のとおりである。尚、GPS テレメトリー法等による調査分析箇所として、過年度に調査した白髪岳地域、大分西部地域も含む（該当森林管理署等：熊本森林管理署・熊本南部森林管理署・大分西部森林管理署・大分森林管理署・宮崎北部

森林管理署・西都児湯森林管理署・宮崎森林管理署・宮崎森林管理署都城支署・北薩森林管理署・鹿児島森林管理署）。



図 1-2-1 事業対象地域位置



1: 京丈山、2: 天主山、3: 目丸山、4: 向坂山、5: 国見岳（熊本県、宮崎県）、6: 白鳥山、7: 水俣市、8: 隣子岳、9: 洞岳、10: 鬼の目山、11: 諸塚村、12: 上面木山湿地、13: 大森岳2092、14: 大森岳2049、15: 小池、16: 鉄山万年青平、17: 鉄山入口、18: 小ヶ倉谷、19: 出水市、20: さつま町、21: 大平2003、22: 大平2006、23: 藤岳、24: えびの市境

図 1-2-2 調査地点位置図

1-3 事業実施期間

本事業における実施期間は以下のとおりである。

自：平成 24 年 10 月 10 日

至：平成 25 年 3 月 15 日

1-4 事業方針

実施にあたっては次の仕様書に準拠するとともに、これらに定めのない事項については委託者との打合せ協議によって定めるものとする。

○平成 24 年度野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業(九州中央山地地域)
仕様書

1-5 事業実施フロー

本事業の実施フローを図 1-5-1 に示す。また、各調査の実施地域を表 1-5-1 に示す。

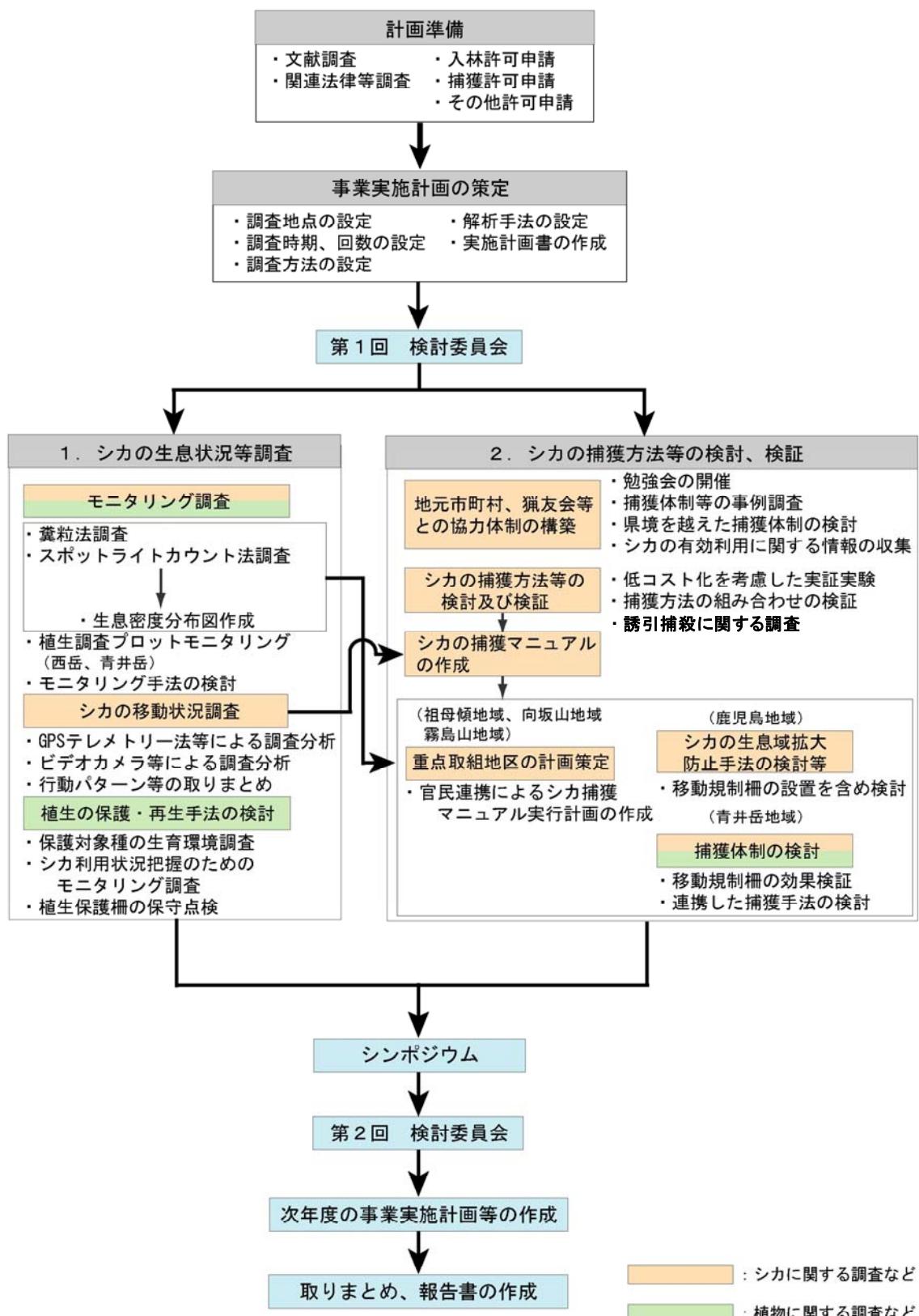


図 1-5-1 事業実施フロー

表 1-5-1 各調査の実施地域

調査項目		祖母傾地域	向坂山地域	霧島山地域	青井岳地域	鹿児島地域	過年度調査地	過年度調査地
		上床地区	西岳地区				白髪岳地域	大分西部地域
(1) ア モニタリング調査								
a	①糞粒法調査	○	○	○	○	○	○	○
	②スポットライトカウント法調査	○	○	○	○	○	○	○
	③生息密度分布図作成	○	○	○	○	○	○	○
	④植生調査プロットモニタリング	-	-	-	○	○	-	-
b	⑤モニタリング手法の検討	-	-	-	○	○	-	○
イ	シカの移動状況等調査	-	-	-	○	○	-	-
a	①GPSテレメトリー法による調査分析	-	-	○	○	○	-	○
b	②ビデオカメラ等による調査分析	○	○	○	○	○	-	-
ウ	地元市町村、獣友会等との協力体制の構築	-	-	-	-	-	-	-
a	地域との連携及び情報収集	-	-	-	-	-	-	-
b	①シカ捕獲手法についての勉強会開催	○	○	○	○	○	-	-
c	②九州の民有林の捕獲体制の事例調査	-	-	-	-	-	-	-
c	③県域を越えた捕獲体制の検討	-	-	-	-	-	-	-
d	④シカの有効利用に関する情報収集	-	-	-	-	-	-	-
エ	シカの捕獲方法等の検討及び検証	-	-	-	-	-	-	-
a	①低コスト化を考慮した捕獲方法別の実証試験	-	-	○	-	-	-	-
b	②捕獲方法の組み合わせの検証	○	○	○	-	-	-	-
c	③誘引補殺に関する調査	○	-	-	-	-	-	-
オ	シカの捕獲マニュアルの作成	-	-	-	-	-	-	-
カ	植生の保護・再生手法の検討	-	-	-	-	-	-	-
	①保護対象種の生育環境調査	-	-	-	-	-	-	○
	②シカの利用状況把握のためのモニタリング調査	-	-	-	-	-	-	○
	③植生保護柵の保守点検	-	-	-	-	-	-	○
(2) ア 重点取組地区の計画策定	○	○	○	○	○	○	-	-
(3) ア 捕獲体制の検討	-	-	-	-	○	-	-	-
	①移動規制柵の効果検証のための植生被害状況調査	-	-	-	○	-	-	-
	②定期的な巣き狩り獣の実施	-	-	-	○	-	-	-
イ	シカの生息域拡大防止手法の検討等	-	-	-	-	○	-	-